

特定複合観光施設区域整備計画審査委員会（第22回） 議事要旨

1. 日時：令和5年1月27日（金）10:00～12:00
2. 開催方式：WEB会議
3. 議題：
 - (1) 事務局からの説明事項
 - (2) 今後の審査の進め方について
4. 出席委員：竹内健蔵委員長、朝岡大輔委員、樋口進委員、古谷誠章委員、矢ヶ崎紀子委員
5. 議事要旨（✓：事務局 ○：委員）

- ✓ 評価基準4、14、15、16、21、25、10、11、12、17、18、22について説明を行った。

【評価基準14について】

- 今のものはイメージ図に留まっており、このデザインでの実現性が本当にあるのかという懸念があり、より現実味のある具体的なイメージを求めてもよいのではないか。
- IRの全体コンセプトにある「水都」がいくらかは読み取れるが、日本におけるIR施設という観点、全体コンセプトとの調和という観点からはよい評価ができるのか疑問がある。
- 大阪が前面に出されていて、日本という観点が欠けているという点は、計画全体を通じて見られ、このカジノ施設のデザインでも同様に感じられるため、認識整理に記載してもよいと思う。
- 評価基準2にも同様の指摘を入れたい。

【評価基準21について】

- 物価や人件費や建設費など、世の中で全体としてコストが上がっており、その一部として金利も上がっている状況であり、事務局から挙げられた点については、金利上昇を踏まえたコメントを入れるのでよいのではないか。

【評価基準25について】

- 飲酒がコントロールできないとギャンブル依存症のリスクが上がるという点を意識した記述は不十分で、利用者に対し、飲酒に伴うギャンブル依存症のリスクが

伝わるよう、サイン等で注意喚起する工夫を考えてもらいたい。

- ギャンブル等依存が疑われる者等の割合については、事業者がモニターして悪化しているようなら対策を考えていくことがヒアリングで述べられており、実現性の観点をしっかり書き込むことで、ある程度評価できる。

【評価基準12について】

- 人材確保の点について、給与水準のほかに、労働環境、働きやすさという点も追加してもらいたい。

【評価基準17について】

- 収益上のカジノの比率を下げていくという論点からMICE増加の努力が求められるという点との整合性の観点からも大事なので認識整理はこれでよいと思う。
- 現実的な推計、手堅い推計をしようとしているところも評価してよいと思うが、一方で推計の粗さや、推計値があまり意欲的ではない点があるという見方になるのではないか。

【評価基準18について】

- 旅行消費額等の推計は、その証左が伴っているものかという観点からは、意欲的な来訪者数に基づいた算定となっており、多少過大と見られる部分の懸念もあるという点については、概ね同感。

【評価基準22について】

- 防災・減災についてはオブザーバーからの意見コメントに十分沿って記述整理を行っており、その主な点としては、「想定外」というような事象も広く想定してリスク管理をしっかりとやるという意識があってもよいのではないかという点や、土壌汚染対策を要する新たな物質が仮に出てきた時の対策を考えておくことを求める点などを追加した旨について、異論ない。
- 「自立電源」などの点の書きぶりについては文意が明確になるよう工夫する。

以上